

教科横断型授業学習指導案

日 時 令和 4 年 5 月 2 3 日 (月) 第 6 校時
福井県立武生高等学校 探究進学科 1 年 1 組
指導者 教諭 室井浩貴 (世界史) 小原崇裕 (物理)

1 単元名

産業革命のはじまり (東京書籍)

2 本時の指導目標

産業革命の背景やその影響について教科の枠を超えて多角的・多面的な視点から考察し、現在にまで残された社会問題についてプリントにまとめ、自分の意見を表現する。

3 単元について

【歴史総合】なぜイギリスにおいて世界初の産業革命がおきたのかを理解するとともに、急激な工業化による社会の変質について考察する。

【物理】熱機関の定義、蒸気機関の構造、スターリングエンジンの構造を学び、スターリングエンジンののはたらきを観察する。

【歴史総合×物理】急激な工業化がおこる契機となった蒸気機関の発明やその歴史的な影響について教科横断的な視点から考察する。

4 本時の展開 (55分授業)

指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点など	主な評価の観点
<u>物理分野</u> (15分) ・熱機関の説明 ・蒸気機関の説明 ・スターリングエンジンの説明	・中学校や、本時までには学んだ内容を思い出し、発問に答える。 ・スターリングエンジンののはたらきを観察する。	スターリングエンジンが登場した歴史背景を説明し、蒸気機関の欠点についても触れる。	観察
<u>歴史総合分野</u> (40分) ・イギリスで産業革命が起こった背景についてまとめさせる ・ラダイト運動について考察させる	・思考ツールを利用し、産業革命の諸要因を教科書から抜き出し、代表者が板書する。 ・ラダイト運動の文章や絵を見て、ラダイト運動の内容やその動機について記述する。	産業革命は複合的な要因からイギリスで起こったことを説明する。 職人の吹き出しにセリフを入れる際は、必ず動機に触れることを強調する。	思考ツールや板書のチェック 授業プリント

<p>・産業革命による社会変化についての資料を読み取らせる</p>	<p>・産業革命の影響に関する3つの資料群【A】～【C】について、考察する。生徒同士で意見を共有し、代表者が板書する。</p>	<p>生徒の解答にコメントしながら、【A】が労働問題、【B】が格差拡大、【C】が環境問題に関する資料であることを確認する。</p>	<p>授業プリント</p>
<p>・産業革命期の欧米と現代日本の社会問題について比較・考察させる</p>	<p>・産業革命期以降の【A】～【C】の資料に関連する問題は、現代の日本ではどの程度是正されているか考察する。意見を周囲の生徒やクラス全体と意見を共有する。</p>	<p>・現代の日本に関する社会問題についても触れる。(過労死、ブラック企業など)</p>	<p>授業プリント</p>
<p>・レスポンスシートの記入させる</p>	<p>・レスポンスシートに本時の感想や、授業の中で新たに生まれた「問い」を記入する。</p>		<p>レスポンスシート</p>

5 反省

- ・紡績にも蒸気機関が使われていることに積極的に触れることで、物理から歴史総合へのつながりをより滑らかにすることができるはずである。
- ・前後半に分野が分かれていたが、教員同士のやり取りを増やすことで、授業内での教科横断の回数をもっと増やすべきである。

生徒感想

- ・技術革新は世の中に大きな影響を及ぼすことがわかった。特に機械をつくり、産業を育成することで、能率が何倍にも上がるのはすごいと思った。
- ・蒸気機関の発明に加え、往復運動から回転運動を起こしたことのすごさが分かりました。
- ・蒸気機関の仕組みを知ることができてとても面白かった。
- ・蒸気機関の利用により発展し、現在も使われているものはないのか興味をもった。

写真

